

令和3年度
新潟市芸術創造村・国際青少年センター
事業計画書・収支計画書

環境をサポートする株式会社きらめき
新潟市中央区東堀前通6番町1061番地
代表取締役社長 山田 茂孝

1. 【令和3年度 基本方針】

1) .基本方針Ⅰ 学校利用等のさらなる促進

- ① 魅力ある新事業・日帰りプランと滞在型体験活動プログラムの開発
- ② 「ゆいぽーと」認知向上のための働きかけ
- ③ ていねいな事前説明ときめ細やかなサポート

2) .基本方針Ⅱ 「にいがたアドベンチャー（NA）」を主軸とした多様な体験活動の提供

- ① にいがたアドベンチャー（NA）、体験プログラムの進化
- ② 積極的な指導者育成
- ③ 青少年と市民との交流促進

3) .基本方針Ⅲ 『水と土の芸術祭』の理念を継承した文化芸術活動支援事業の実施

- ① AIR 市民交流事業の有効活用
- ② 市民プロジェクトとの連携
- ③ 青少年体験活動との融合

2. 【目標設定】

令和3年度 利用人数目標 (人)

事業区分	R3目標値
文化芸術活動支援事業	3,500
青少年体験活動推進事業	58,700
その他事業	8,140
合計	70,340

【文化芸術活動支援事業内訳】

事業カテゴリー	R3目標値
① AIR 制作見学・展示会	1,460
② AIR 市民交流事業	240
③ 地域団体市民交流事業	360
④ 水と土の文化ギャラリー企画展示	1,390
⑤ ボランティアの活用	50
合計	3,500

【青少年体験活動推進事業内訳】

事業カテゴリー	R3目標値
① 青少年体験活動（学校関係、青少年団体向け）	38,400
② 青少年健全育成事業（青少年個人向け）	410
③ 市民交流事業	100
④ 市民交流事業（地域世代間交流事業）	2,600
⑤ 青少年の自由な遊び場・居場所提供事業	17,000
⑥ 指導者育成事業	130
⑦ ボランティアの活用	60
合計	58,700

【その他事業】

事業カテゴリー	R3目標値
貸館利用（青少年を除く）	1,440
個人利用（青少年を除く）	6,600
自主事業二葉アーツスクール	100
合計	8,140

3. 【学校利用等のさらなる促進】

文化芸術活動と青少年体験活動の強みを活かした活動を推進することにより、認知度の向上、利用学校数、稼働率の向上を目指します。

1) . 魅力ある新事業・日帰りプランと滞在型体験活動プログラムの開発

- ① 文化芸術活動と青少年体験活動のコラボ企画の推進
中学・高校美術、体育分野等での AIR 成果展の見学・ワークショップへの参加を進めます。青少年が直接アーティストと触れ合う機会を設け、青少年体験活動から芸術文化活動への導入、施設有効活用へと繋げます。
- ② 海のアクティビティ新プログラム開発の準備と試行
眼前に広がる日本海の立地を活かしたプログラムの開発へ向けて、準備や試行を行います。
- ③ 「野外炊事+NA」や「NA+アート体験」といった日帰りプランや、1泊2日滞在型モデルプランの開発に取り組みます。

2) . 「ゆいぽーと」認知度向上のための働きかけ

- ① メーリングリストの作成・活用による、学校へのダイレクトな情報発信
校種別、市内外別のメーリングリストを作成し、各リストにフィットした情報をダイレクトに届け、施設認知度の向上に努めます。
- ② イベントチラシ、ゆいぽーと通信等の効果的配付
年2回発行の「ゆいぽーと通信」と文化芸術・青少年体験活動のイベントチラシを市内の学校や公共施設に配架するとともに、近隣校区の全児童・生徒に配付します。
- ③ SNS を活用し、潜在顧客へアピール
Facebook、Instagram、Twitter、LINE を活用し、認知度の向上、利用拡大につなげます。

3) . ていねいな事前説明ときめ細やかなサポート

- ① 様々な機会をとらえて臨機応変なアピール活動の展開
新潟市中学校長会、各区小学校長会、市内小・中・高校と密に連絡をとり、「市の施設であり、安面で安心して利用できる」「市の中心部に位置し、医療機関や公共施設が近く安心である」「教育課程内の活動は、施設使用料が免除できる」等の利点を直接アピール、さらにプランの提案、活動例の提示等により利用を促します。
- ② 「個別にフォローを受けられる」オーダーメイド対応
各学校の状況に応じて、必要と思われる事案については事前に相手先と協議を重ね、出来るだけ希望に添える学校別プランを作成し、効果的な利用につなげます。
- ③ アンケート結果と改善点の開示
利用後のヒアリング・アンケート（評価）等により、利用者の声や評価を改善につなげます。
- ④ 動画を使った館内アピール活動の展開
施設の利用方法を予め動画で提供し、説明の視覚化、時間短縮を図ることで有意義な滞在研修となるよう支援します。

4. 【青少年体験活動推進事業】

職員全員が青少年の体験活動における安全管理の在り方を理解し、身体的及び心理的に安心・安全なプログラムを提供します。

1) . にかがたアドベンチャー（NA）、体験プログラムの進化

- ① 体験活動プログラムの提供と実施（主に小・中・高等学校等、施設利用青少年団体向け）
 - (ア) 「にかがたアドベンチャー」（以下、「NA」という。）の重点実施（継続）
 - a. プログラムの質の向上

これまで実施しているプログラムを、団体のニーズにも応えながら、青少年にとってより効果的な形で提供します。

b. 「NA ファシリテーターミーティング」の開催

NA の指導力向上を目的として上記の登録ファシリテーターを対象に、アクティビティ実習、ロールプレイング等を通じた指導力向上を目的とした研修を実施します。

(イ) その他体験活動

ネイチャーゲームや野外炊事、オリエンテーリングなど、計 22 の選択プログラムを整備し、それぞれの学校や団体のニーズに合わせて選択し実施できるようにします。(別紙、利用団体向け選択プログラム一覧あり)

② 青少年健全育成事業(青少年個人向け)

(ア) 宿泊事業(3回開催)

「アート体験」をテーマにした事業を継続し、より幅広い体験事業を実施します。

a. ワクワク体験キャンプ(館内研修室泊。年1回実施。)

ゆいぽーとの特性を活かした1泊2日のキャンプ。NA、野外炊事、工作など楽しいプログラムが体験できます。

b. アート体験キャンプ(館内研修室泊。年2回実施。)

アーティスト・イン・レジデンス事業で滞在するアーティスト等を講師に招いたアート体験プログラムを中心とした1泊2日のキャンプ。体験系と芸術系の融合プログラムを実施します。

(イ) 日帰り事業(15回程度開催)

ゆいぽーとの特性を活かして、通年で様々な体験ができる事業を実施します。

2) 積極的な指導者育成

① 指導者養成講座

(ア) 「ゆいぽーと体験活動指導者養成講座」(A 業務)

a. 新規・継続指導者向け…日帰り6時間の養成講座を実施(年1回実施)

(イ) 「にいかたアドベンチャー指導者養成講座」(B 業務)

a. 新規・継続指導者向け…21時間の養成講座を実施(年1回実施。PAJより講師を招聘する)

b. ファシリテーターミーティング…登録指導者を対象に、ファシリテーション力の向上や相互交流を目的に実施(日帰り6時間、年2回実施)

3) 青少年と市民との交流推進

① 市民交流事業

(ア) 全国KAPLA®大会

大会参加施設として登録し、自由な作品作りを通して地域住民と創作活動を通じた交流を図ります。

(イ) 「防災デイキャンプ」の実施

地域住民と連携しながら、非常食体験や防災グッズ作りなど災害時に役立つ日帰りプログラムを実施します。

② 地域世代間交流事業

青少年と幅広い世代の方々との交流を推進するため、以下の事業を中心に行ってまいります。

(ア) キッズスペース、こたつスペースの設置

親子や地域住民がゆっくりくつろげるスペースを設置します。

(イ) 花いっぱい運動、コミュニティ菜園

世代間の交流を促すとともに、施設に愛着を感じていただけるよう近隣の保育園、自治会に協力をいただき

花植えや作物の収穫を行うなど、花壇や菜園を通じた交流事業を行います。

(ウ) ゆいぼーと感謝祭「ふたば彩」

日頃の利用の感謝や冬場の利用促進を目的として、施設を利用する青少年団体やアーティストと協働し、広く市民の参加を募るゆいぼーと感謝祭「ふたば彩」を開催します。複合施設の特徴を活かし、文化芸術活動と青少年体験活動のコラボをコンセプトとした多彩なイベントを開催します。

4) . その他

青少年の自由な遊び場、居場所の提供事業

(ア) ラウンジや体育館の無料開放

将棋、オセロ、バスケットボール、けん玉、KAPLA®等で自由に遊べます。

(イ) 時間帯別利用区分け

小中学生は原則午後 5 時半まで、それ以降は高校生や大学生が使用できるようにするなど、安全に利用できるよう時間や場所等を決めて運営します。

(ウ) 他部門との連携

新潟市国際課や新潟青陵大学ボランティアセンターと連携して、自由な遊び場の時間の中で国際交流員や大学生と交流できる機会を設け、青少年の国際交流や多文化共生、異年齢交流を図ります。

5) . 令和3年度 青少年体験活動推進事業 年間計画

種別	事業名	内容	開催時期
青少年宿泊	ワクワク体験キャンプ（1泊2日）	NAでの仲間づくり、野外炊事、工作、など施設の特徴を活かしたプログラム体験。館内泊	9月
青少年宿泊	アート体験キャンプ（1泊2日）	作品づくりや工作などのアート体験を中心としたキャンプ。A I Rアーティストを中心とした芸術家との交流事業。館内泊	6月、10月
青少年	天体望遠鏡で星空を観察しよう	天体望遠鏡を使用した星空観察会	8月
青少年	お菓子作り体験	調理室でのお菓子作り体験	12月
青少年	ブラックライトで光る絵を描こう	蛍光絵具を使用して、ブラックライトに浮かび上がる絵を描く体験	1月
青少年	飛び出すカード作り体験	クリスマスや干支にちなんだ飛び出すグリーティングカード作り	10月
青少年	国際交流員とゲームで交流しよう	国際交流員と一緒にゲームを楽しむ	3月
青少年	たき火でやきいもを焼こう	たき火でやきいもを焼く体験	11月
青少年	調理体験	親子で料理を作り、料理の楽しさを体験する	11月
青少年	新小学生 ゆいぼーと探検	新小学生になる年長児を対象に、施設探検とおみやげ工作	3月
青少年	元自衛隊員が教えるプチサバイバル体験	自然の中で起こりうる危険を考えるほか、簡単なロープワーク体験	5月
青少年	ゆいぼーと工作教室	季節に合わせた工作教室	4月
青少年	Eポートで海に出よう	海でのEポート体験(消波ブロック内側)	7月
青少年	元プロボクサーが教えるボクシング体験	ボクシングの楽しさをプロボクサーから教わる体験	2月
青少年	デイキャンプに挑戦(たき火&カートンドッグ)	親子で疑似キャンプ体験	9月
市民交流	防災デイキャンプ	非常食体験や防災スキルを学ぶ	7月
市民交流	全国KAPLA®大会	カブラで作った作品を応募出来る大会	7月、8月
市民交流	キッズスペース、こたつスペースの設置	親子がゆっくりくつろげるスペースを設置します。キッズスペースに加えて11月～3月にこたつスペースを設置します	通年
市民交流	花いっぱい運動、コミュニティ菜園	世代間の交流を促すとともに、施設に愛着を感じていただけるよう近隣の保育園、自治会に協力をいただき花壇や菜園といった交流事業を行います。菜園では収穫体験も併せて行います。	5月～11月
市民交流	ゆいぼーと感謝祭（ふたば彩）	日頃の利用の感謝や冬場の利用促進を目的として、施設を利用する青少年団体やアーティストと協働し、広く市民の参加を募るゆいぼーと感謝祭「ふたば彩」を開催します。複合施設の特徴を活かし、文化芸術活動と青少年体験活動のコラボをコンセプトとした多彩なイベントを開催します。	2月
指導者育成	ゆいぼーと体験活動指導者養成講座（A業務）	新規・継続指導者向け、日帰り6時間	4月
指導者育成	にいがたアドベンチャー指導者養成講座（B業務）	新規・継続指導者向け21時間（日帰り3日間）。㈱PAJより講師を招聘	5月
指導者育成	にいがたアドベンチャー ファシリテーターミーティング（B業務）	継続登録者向けフォローアップ講座、日帰り6時間	4月、12月
その他	青少年の自由な遊び場、居場所の提供事業	ラウンジや体育館の空いている日を開放	通年

5. 【文化芸術活動支援事業】

文化芸術活動と青少年体験活動の複合という「ゆいぽーと」の強みを活かした事業運営を目指します。

1) .「水と土の芸術祭2015」総合ディレクターによる文化芸術監修（常駐）

「水と土の芸術祭2015」総合ディレクターが常駐し、同事業の理念を継承した事業を中心に展開します。

① アーティスト・イン・レジデンス

新潟市ならではのアーティスト・イン・レジデンス（以下、「AIR」という。）事業の特色を国内外へ打ち出します。
令和3年度は8組程度実施します。

(ア) 募集

令和4年度秋までの募集を2か国語以上のホームページ及びSNSを中心に行います。AIRの国際的ネットワーク組織である「Res Artis」（レザルティス）に継続加盟、各地のAIR施設やアートプロジェクトなどとの連携を図ります。

(イ) 招聘プログラム等選定委員会の運営

令和3年度については令和4年度春までの滞在作家選定を行うための選定委員会を、年2回（4月・10月）開催します。

(ウ) AIRによる芸術家等創作活動の支援

芸術家等の滞在期間中は、地域の自然、歴史、文化の魅力を体感できるようコーディネートするなど、さまざまな支援を行います。

(エ) AIRによる市民交流事業

制作過程の公開、ワークショップ、レクチャーなどの交流事業を行います。企画に当たっては、芸術家等の特性を活かせる内容のものとし、多様な市民との接点を広げます。

(オ) アート体験キャンプの実施（再掲）

文化芸術活動と青少年体験活動の2つをあわせもつ「ゆいぽーと」の強みを活かしたアート体験キャンプを実施します。

2) .市民プロジェクトとの連携

① 各プロジェクトとの連携

市民が主体的に交流、創造、発信できる拠点として、「水と土の芸術祭」を盛り上げた多様な市民プロジェクト等と連携し、継続的な事業展開を行います。

② 地域の文化芸術関係団体等による市民交流

西大畑旭町文化施設協議会「異人池の会」や各種団体及びクリエイター等と連携し、地域のにぎわい空間を創出します。

③ 水と土の文化ギャラリーの企画展示・運営

(ア) 企画展の開催

「水と土の芸術祭」の実績をもとに、本市が水と土によって育まれた文化創造交流都市であることを内外へ発信する多様な企画展及び常設展を開催します。

(イ) 全国の芸術祭関連資料や美術・芸術関連書籍等の設置及び管理運営

「水と土の芸術祭」をはじめ全国の芸術祭関連資料や美術・芸術関連書籍等を設置するとともに、有効な活用を図ります。

3) . 令和3年度 文化芸術活動支援事業 年間計画

事業名	内容	開催時期
招聘プログラム〈春〉	2組、滞在制作90日以内	4月～6月
自主活動プログラム〈夏〉	2組、滞在制作30日以内、選定R3年4月	7月～8月
招聘プログラム〈秋〉	2組、滞在制作90日以内、選定R3年4月	9月～11月
自主活動プログラム〈冬〉	2組、滞在制作30日以内、選定R3年10月	1月～2月
招聘プログラムアーティスト〈春〉	2組、内容はアーティストの特性による。1組につき1回以上実施	4月～6月
自主活動プログラムアーティスト〈夏〉	2組、内容はアーティストの特性による。1組につき1回以上実施	7月～8月
招聘プログラムアーティスト〈秋〉	2組、内容はアーティストの特性による。1組につき1回以上実施	9月～11月
自主活動プログラムアーティスト〈冬〉	2組、内容はアーティストの特性による。1組につき1回以上実施	1月～2月
にいがた花絵プロジェクトinゆいぼーと	地元産チューリップを用い、独自の花絵を多様な人たちとの協働で制作・展示	4月
ゆいぼーとAIR交流企画（仮）	AIRアーティストと連携した「地域の文化芸術関係団体等による市民交流事業」	5月～6月
明後日朝顔プロジェクトNIGATA in ゆいぼーと	アーティスト・日比野克彦が始めたプロジェクトの新潟拠点の一つとして実施	5月～11月
ゆいぼーとで感じる世界 異文化交流シリーズ	新潟在住で異文化に精通する方々と連携し、外国の文化にふれるプロジェクトを実施する	6月
新潟竹あかり花あかり〈関連企画〉	異人池の会と連携し、テーマに因んだ独自企画を実施	10月
クリスマスキャンドルツリー アートナイト	ワークショップで、ツリーに見立てたキャンドルアートを作成。点灯式にはパフォーマンスイベントを実施	12月
絵本フォーラム	絵本をめぐる人々によるフォーラム。読み聞かせなど、絵本の楽しみ方を広げる	3月
常設展①	「新潟市環境資源目録」と「はがしたての地球～土壌モノリス」の展示	4月～6月
(仮想)みずとつちの芸術祭2021	市民主導による新しい芸術祭の可能性を探る企画展	7月～9月
新潟の芸術家による作品展	現在、新潟で創作活動を行っている芸術家等による作品展	10月～12月
常設展②	大畑少年センターが所蔵していた新潟ゆかりの絵画作品などの展示	1月～3月

4) 「メセナ活動」の推進

芸術家等のAIR活動を支援すべく、企業活動（環境をサポートする株きらめき）として会員制のメセナ活動を推進し、参加企業を募ります。またそれ以外にも個人スポンサーを募ります。なお、調達資金については、それぞれ指定管理料及び通常の自主事業とは別口座にて管理します。

6. ボランティアの活用

1) . 青少年体験活動推進事業

NAやその他事業においてボランティアを活用します。各種団体、個人、市内各大学ボランティアサークルの協力をいただき、市民協働の輪を広げます。

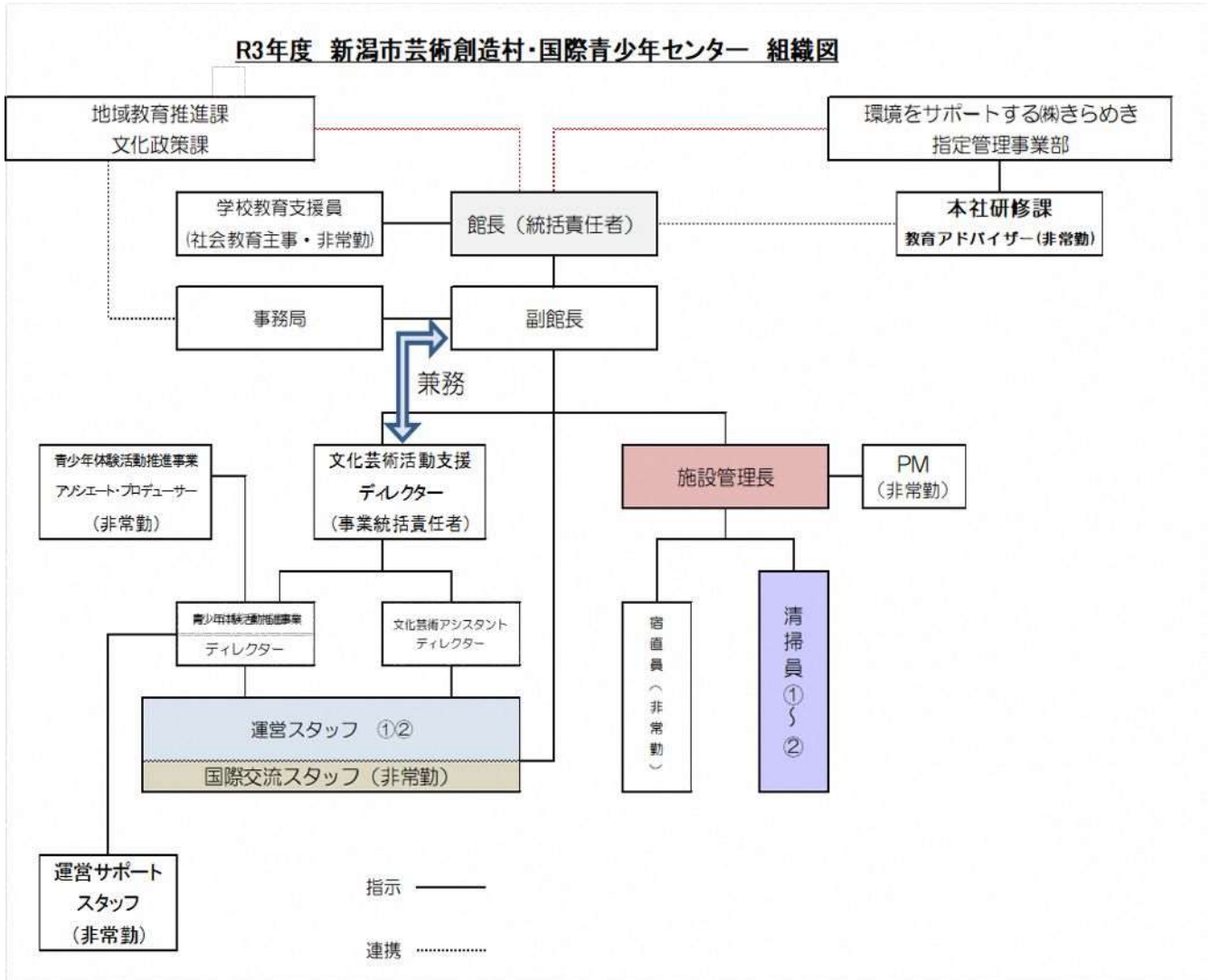
2) . 文化芸術活動支援事業

AIR創作活動支援、市民交流事業については各種団体、個人、学生など、ボランティアスタッフと協働しながら行います。

3) . 青少年登録団体との連携

青少年登録団体と連携し、維持管理や各事業のサポートを行ってもらうことで、市民協働による運営を促進します。

7. 管理運営体制



8. 研修計画

研修名	実施月		実施者
【施設受付・貸出業務】			
マナー(接客・接遇)研修	2月		きらめき本社 指定管理事業部
個人情報取扱・コンプライアンス研修	2月		きらめき本社 指定管理事業部
【安全管理】			
避難訓練	5月	11月	防火管理者
AED研修	5月	11月	AEDプロバイダー
【にいがたアドベンチャー・その他プログラム】			
スキルアップ研修	8月	12月	ゆいぽーと職員

9. 広報計画

広報媒体	内容	時期	配布先
HP（ホームページ）	施設案内や各事業に関するイベントの参加募集等をHPにて発信	通年	-
館内掲示	各種広報物を館内にて掲示	通年	-
SNS（Twitter・Facebook・LINE・Instagram）	事業の開催案内や開催中の様子を発信	通年	-
ゆいぽーと通信	季節に応じた各種プログラムや、滞在作家の情報等を発信	6月・1月	市内小・中・高等学校 各公共施設等
青少年体験活動推進事業に関するチラシやパンフレット	事業に関する開催案内や募集案内	前期（5月） 後期（11月）	市内小中学校 各公共施設等
	指導者育成事業の案内	都度	各公共施設等
文化芸術活動支援事業に関するチラシやパンフレット	事業に関する開催案内や募集案内	適宜	各文化施設等
文化芸術活動支援事業の活動記録集	AIR、その他市民交流事業等がまとめられた活動記録集	3月発行	各図書館 各文化施設等
施設予約システム運用開始PR	R3年度中に運用が開始される、公共施設予約システムについての案内 HP、SNSでの情報発信 案内チラシの配架、利用許可証の同封	4～5月	施設利用者 各公共施設等
市報にいかた	事業に関する開催案内や募集案内や施設全体に関する案内	通年	-
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会でのPR ・関係団体と協力したPR ・所管課を通じた学校開放利用団体へのPR 	適宜	-

10. 自主事業計画

利用者の利便性の向上を目的とした有料自主事業を実施し、それらによって得られた利益については全て施設の維持管理費に充当します。

1) . ケータリング、お弁当サービス

利用者からの希望があればケータリング、お弁当サービスを提供します。

2) . 自動販売機収入による無料Wi-Fi継続設置

自動販売機の手数料収入を財源として、1～2階に無料Wi-Fiを設置します。

3) . 二葉アーツスクール「めだかの学校」シーズン4の開講

新潟に根差したテーマによる連続市民講座を実施します。（年4回開催予定）

4) . その他サービス

その他サービスとして下記の実施します。

- ・コインランドリー（3、4階）
- ・faxサービス
- ・薪と屋外調理材料の販売
- ・CDプレイヤーレンタル

11. 維持管理年間作業計画

令和3年度

総合管理会社名	環境をサポートする(株)きらめき
施設管理長	小野 直人
施設アドバイザー	長谷川 透

上段は予定を記入、下段は実施確認を記入。(予定:通常・法定点検○等)

業務名 NO	作業名称	作業回数	作業実施時期 (R3.4.1~R4.3.31)												備考	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
清掃管理業務	1-1 日常清掃	月間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8:00~12:00 (休館日を除く)
	1-2 床面清掃ワックス仕上げ	年2回						○						○	9-3月	
	1-3 窓ガラス・サッシ清掃	年2回			○							○			6-12月	
	1-4 廃棄物処理	月間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可燃物2回、不燃物1回+毎月2回、 古紙リサイクル2回、ダンボール6月2回	
施設等維持管理業務	2-1 施設管理員	月間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	シフト表による 8:00~17:00	
	2-2 夜間受付管理員	月間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	シフト表による 21:00~翌8:30	
	2-3 消防用設備等保守点検	年2回			○							○			6(総合)・12(機器)月	
	2-4 防火対象物点検	年1回			○										6月	
	2-5 空調機室外機点検	年1回		○											5月 定期点検1/3Y	
	2-6 空調機室内機点検	年2回		○						○					5-11月	
	2-7 空調機改正フロン簡易点検	年4回		○			○			○			○		5-8-11-2月	
	2-8 エレベーター保守点検	年4回		○			○			○			○		5-8-11-2月 (上記以外の月は遠隔監視)	
	2-9 自動ドア保守点検	年2回		○							○				5月・11月	
	2-10 換気設備保守点検	年2回			○							○			6-12月	
	2-11 特殊建築物定期調査	2年に1回	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	2月(奇数年度2月実施)	
	2-12 建築設備定期検査	年1回										○			12月	
	2-13 防火設備定期検査	年1回										○			12月	
	2-14 建築設備巡回点検	月間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	2-15 電気設備点検	年6回	○		○		○		○		○		○		偶数月	
環境衛生管理業務	3-1 特定建築物環境衛生管理技術者選任	月間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	3-2 空気環境測定	年6回		○			○		○		○		○		奇数月	
	3-3 防虫防鼠作業	年2回			○						○				6月・12月 全体調査	
	3-4 防虫防鼠作業	年4回		○			○			○		○			5月・8月・11月・2月 生息調査	
	3-5 排水受け点検	年4回			○		○		○		○				冷房使用時 6月~9月	
	3-7 貯水槽清掃	年1回			○										6月	
	3-8 特定建築物定期検査	年1回			○										6月	
	3-9 特定建築物半期検査	年1回									○				12月	
	3-10 消毒副生成物検査	年1回			○										6月	
	3-11 簡易専用水道検査	年1回				○									7月	
	3-13 空調機フィルター清掃	年2回		○							○				5月・11月	
	3-14 プラスターストラップ清掃	年2回				○						○			7月・1月	
	3-15 レジオネラ検査	年1回					○								8月	
	維持管理業務 その他	4-1 除雪作業費	月間										○	○	1月-2月(10日間) (3名×4H/1回) 1H@23,000	
4-2 機械警備		月間	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
4-3 植栽管理		年2回			○						○				フジ剪定 6月-10月	
		年1回			○										高木・低木等剪定 6月	
		年2回			○				○						薬剤散布 6月・9月	
4-4 AED管理		月1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3台設置		
4-5 マット等管理		月1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	マット7枚・体育館マット4枚		
4-6 エレメント(屋外遊具等含保守点検料)	年1回		○										5月			
4-7 ピアノ調律(アップライトピアノ・グランドピアノ)	年1回	○												4月		